

週刊タイムス住宅新聞

Forever Communication
株式会社 松樹
MATSUKI

中古住宅・土地・軍用地
買います一括即金
TEL(098)892-1000
〒901-2202 宜野湾市普天間2-1-6 知事免許(5)第2709号



お住まい拝見

徳永さん宅

海眺める職住近接の家

東シナ海に向かってワイドに開くことで、外の一体感を高めた3階LDK。ブラインドを開け放っても、道路からの視線が気にならない。徳永さんにとって毎朝、海や空の色をチェックし、家族みんなで長く過ごす場所となっている(撮影/高野生優・フォトアートたかの)

住宅の建設が進む糸満市潮崎町の埋立地。「好きな海が見える場所で伸び伸び子育てしたい」と、東京から移住してきた徳永さん(44)が実現したのは、3階建ての職住近接の住まい。3階のLDKでは、青い海と空が開口いっぱい広がり、海のすぐ隣に家があると思ってしまうほど、開放感いっぱい。2階の美容室では夫妻が仕事をしながら、友だちと遊んでいる娘の声に耳を澄ます。移り行く空や海の表情、子どもの様子を身近に感じ、ゆったりと暮らしている。

CONTENTS

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 01 お住まい拝見 | 12 作って楽しいDIY |
| 04 フラット35
最長35年固定金利で安心 | 13 心地いいホームデザイン
クローゼットのすっきり効果 |
| 07 うまんちゅトーク | 19 不動産スクランブル
オーナー日記 |
| 08 ニュース | 20 ひと |
| 09 共生のわ
NEW 自然と暮らす知恵 | 21 家電のはなし |
| 11 世界のまち | 23 ユニバーサルデザイン |



3階のキッチンからリビング・ダイニングを見る。片流れの屋根が実際の面積以上の広さを感じさせる。外はもとより、階段室を行き来する家族の姿も見える



3階のLDKと寝室を結ぶ階段室。2階の子ども室や美容室と行き来できる。奥には家族専用のエレベーターを設置



徳永さんの意向で、ガラス張りで開放感たっぷりに仕上げられた3階浴室。西日で乾燥も早い



3階寝室からの眺め。横長の窓から向かいのリビング・ダイニングの先に広がる海まで見通せる。「ベッドから起き上がるとすぐに海が見えますし、寝転がると空が見えます。夜は星を眺めながら寝ています」と徳永さん



外観。海に面した西に開口を大きく取った。1階はピロティ・駐車場

お住まい拝見

(徳永さん宅)

家中がリゾートに

徳永さん一家の生活の中心は、東シナ海が一望できる3階LDK。大きな開口からはマリンスプルの東シナ海が広がり、リゾート感たっぷり。「朝起きたら、まず海や空の

「朝起きたら、まず海や空の

様子を家族みんなでチェックするんです。』きょうは晴れそう「潮が引いてるね」と話し合うのが楽しい。おかげで海が一番よく見える時間帯が分かるようになりました」と、徳永さんはうれしそうに話す。

時間があれば、国内外の海

自然感じ伸び伸び子育て

辺のリゾート地へ旅行していたほど海が好きだったことから、住まいも、家のどこにいても海が眺められる造りに。「寝室からもリビング・ダイニング越しに海が見えるし、夜になると、ベッドに寝転がったままで星が眺められる。空の移り変わりに敏感になれるのも、穏やかな海辺の暮ら

目が行き届く安心感

東京で美容室を営んでいた徳永さん一家が移住を決めたのは、愛娘の子育てを見直したいと考えたから。「東京に暮らしていたころは、公園でも親が付きっきりで、子どもたちも窮屈そうでした。そんなとき、以前訪れた沖縄で子どもたちが小路で思いっきり遊んでいた姿を思い出したんで

しなだけではすよね」シンボルツリーのヤシが植えられた1階中庭には徳永さん自ら芝生を敷き、傍らにある菜園スペースでは、ゴーヤーやアシタバを育て、手入れに汗を流す。「新しい家では土に触れる生活をしたいなと思っていたので、実現できて良かった。この間、娘と一緒にナスを収穫したんですよ」と顔をほころばせる。

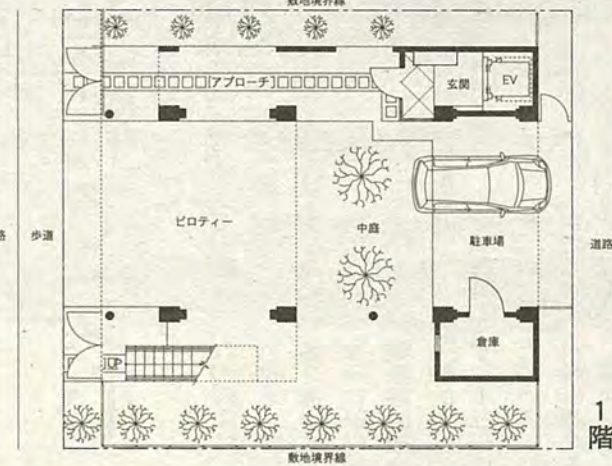
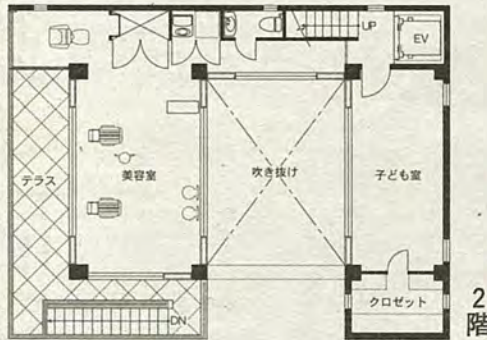
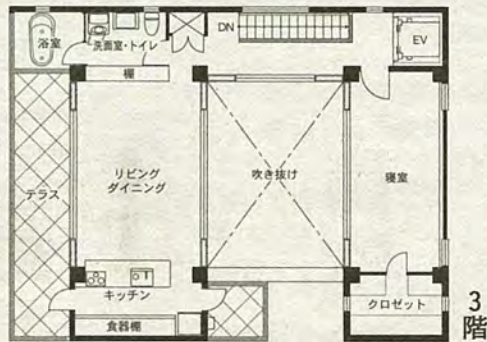
す。せつかくなら、そんな環境で伸び伸び子育てしたいと思ったことも、移住を後押ししました」と振り返る。

2階に夫妻の営む美容室を設けたのも、仕事場に居ても子どもの様子が分かるようにしたいとの思いから。「友だちと遊んでいる娘の声も店にも伝わってくるし、娘も出かけるときには、店に居るわたしたちに声を掛けてくれるので、安心して仕事ができます」。

建築士との出会いも、満足のいく家造りにつながったと徳永さんは言う。「職住近接の住まいを勧めてくれたのも彼でしたから、今思えば、僕たちがゆつたりできる家を設計してくださったことに感謝です」。

徳永さん一家は、自然や家族が身近に感じられる豊かな暮らしを、沖縄で手に入れたようだ。

平面図



建築データ

家族構成：夫婦、子ども1人
 敷地面積：195㎡(約59坪)
 1階床面積：48.36㎡(約14.6坪)
 2階床面積：66.18㎡(約20坪)
 3階床面積：73.02㎡(約22坪)
 建ぺい率：40.95%(許容60%)
 容積率：87.86%(許容150%)
 用途地域：第1種中高層住居専用地域
 躯体構造：鉄筋コンクリート造
 設計：(有)チームドリーム 福村俊浩、比嘉裕隆
 構造：西建築設計事務所 西伸介
 建築：(株)善太郎組 島尻一
 電気：(有)嶺技研 宮城剛
 水道：(有)大皓設備 大城浩一

(有)チームドリーム ☎ 098・866・5038
<http://www.dream-archi.com/>

3階寝室。こちらも片流れの屋根でより広さと明るさを演出。この部屋からもリビングに居る家族の様子が分かるようになってい



快適
裏方さん

チームドリームに聞く設計のポイント

3階に住宅、眺望楽しむ



室内の至る個所に光や風、眺めの良さをもたらしている中庭。シンボルツリーのヤシが成長すれば、心地良い緑陰が室内にも

徳永さんは海辺のリゾートにあげられて、「家のどこに居ても海が見え、仕事をしながら安心して子育てできる造り」を要望。設計では、家のどこに居ても景色、光や風が十分取り込み、公私の空間の分け方が、ポイントになりました。

認。3階に住宅、2階に仕事場や子ども室、1階にピロティー・駐車場を配した職住近接の住まいを提案しました。

景色を室内に取り込む工夫として、建物の西側に生活の中心となるLDKを置き、ガラス張りのワイドな開口で東シナ海が存分に眺められる造りに。テラスの庇は深く、室内の延長として使いやすくしています。

建物、南に開いた中庭をコの字型で囲むようにレイアウトしています。

建物は、南に開いた中庭をコの字型で囲むようにレイアウトしています。

そのほか台風や塩害対策として、強い風圧に耐えられる強度のガラスの採用や、外壁を塗装でコーティングしています。

一家にとって掛け替えのない住まいとなれば、設計者としても幸いです。